

ご注意 「グラウンドゴルフ集計プログラム」の「メンバー編集」シートから「スコアカード転記」では「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」のシートだけを利用します。機能は同じですがスコアカードに転記するプログラムはこの説明書で記述するものとは別物です) この説明は「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」ファイルを単独で使用する場合で、「グラウンドゴルフ集計プログラム」に無い機能の場合に使用してください。

グラウンドゴルフスコアカード説明書

(兼) ABC 地区対抗 GG スコアカード説明書

Version 4.01

(Excel 2016, 2013, 2010 に対応)

Word 版 説明書、サンプル試用ファイルダウンロード URL :

<http://tatsu.la.cocan.jp/>

2021. 01. 01

By Tatsu

著作権 : 著作権は本プログラムの作成者にあります。
配布・転載 : プログラムの配布、転載等は一切お断りします。
連絡先 : E-Mail: w-tatsu14a@nifty.com

目 次

1	概要・特徴など	- 3 -
2	配布用ファイルの説明.....	- 4 -
	(ア) 配布用ファイルの説明	- 4 -
	(イ) 使用する場合の参考事項.....	- 5 -
3	「グラウンドゴルフスコアカード 401.xlsm」プログラムの使用方法	- 5 -
	(ア) スコアカードタブについて	- 5 -
	(イ) 表を初期化.....	- 5 -
	(ウ) メンバー取り込み	- 6 -
	(エ) ホールポスト No を割り振り	- 7 -
	(オ) 日付競技大会名入力.....	- 7 -
	(カ) 氏名の書き出し.....	- 7 -
	(キ) 氏名手書きタイプ	- 8 -
	(ク) 「フッタを消去」	- 9 -
	(ケ) 印刷する場合	- 9 -
	(コ) 検索	- 9 -
	(サ) No と氏名の重複を調査(S).....	- 9 -
	(シ) エラーカラーを消す(C).....	- 10 -
	(ス) 表罫線再設定(K)	- 10 -
4	バージョンの変更内容.....	- 10 -
	(ア) バージョンアップについての変更内容.....	- 10 -

この説明書の使用方法

この説明書はペーパーレスを前提として作っており印刷して使用した場合は「Acrobat Reader DC」の便利な機能リンク先へジャンプが使いません。

「GG スコアカード 401.xlsx」と、この「グラウンドゴルフスコアカード説明書 401」を同時に開き「[図 1 タスクバーを使用](#)」の図のように「Excel」と「Acrobat Reader DC」をタスクバーで切り替え「GG スコアカード 401.xlsx」を実践しながら本説明を読むと理解し易くなります。



図 1 タスクバーを使用

本説明書の「目次」や「各章」の“[「](#)”でくくった「青色」文字列の部分をクリックするとリンク先にジャンプし「[図](#)」、「[表](#)」、「[説明](#)」を参照できます。

「Acrobat Reader DC」を使用して PDF 版説明書を開いた場合は「青色」文字列上をポイントし「手」のマークをクリックし「進む」ジャンプ先ではショートカットキーの操作で Alt + 左向き矢印で戻り、進む場合は Alt + 右向き矢印キーが使用できます。

参照先に移動してみないと理解しにくいということがありこの方法をご利用ください。

Word 版の説明書ファイル

上記で説明の「Acrobat Reader DC」では「戻る」、「進む」の操作において特に「戻る」の操作の場合、元の位置を少し外れて戻ってしまい非常に使いにくい点があります。本説明書は Word で作成しており、Pdf に変換したとき「相互参照」の文字の色「青色」や下線がところどころ消えて分かりにくい点があります。(Alt+F9 でフィールドを更新する場合も色が抜けるので Word のバグ?)

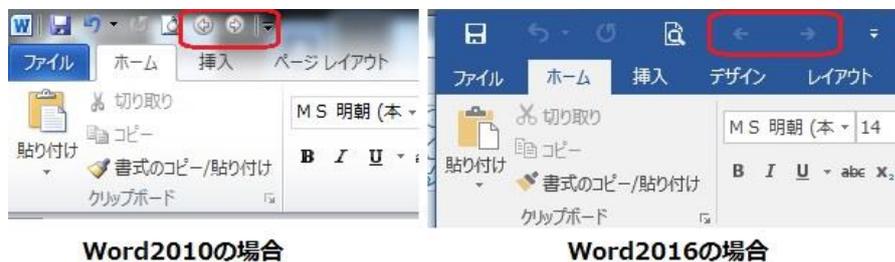


図 2 Word の「戻る」、「進む」ボタンの表示

Word の「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法：

Word2010 の場合「[図 2 Word の「戻る」、「進む」ボタンの表示](#)」クイックアクセスツールバー（赤枠のバー）の中に「戻る」、「進む」ボタンを作るにはクイックアクセスツールバーの右端にあるドロップダウンボタンをクリックして<その他のコマンド(M)>- Word の「オプション」ダイアログボックスを開き「クイックアクセスツールバーをカスタマイズします」の下の「コマンドの選択(C)」リストボタンで<リボンにないコマンド>- 「戻る」ボタンをクリック-<追加

(A)>を押します。同様に「進む」ボタンをクリック→<追加(A)>→<OK>を押します。

図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。

「Acrobat Reader DC」ではツールバーのズームイン「」で倍率を上げてください。

Word の場合は「表示」タブの「ズーム」をクリックし「指定(E)」に適切な数字を入力して見易くしてください。

この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。

<ホーム>タブ→<編集>グループ→<検索>リストをクリック→<高度な検索(A)>をクリックし「オプション(M)」ボタンで「あいまい検索」のチェックを外します。

「検索する文字列(N)」ボックスに検索文字を入力して説明場所を探す方法が便利です。(「あいまい検索」はチェックマーク OFFの方が探し易いと思います)

プログラムの使用にあたってのご注意

フリーソフトですが、著作権は放棄していません。プログラム、説明書、関連するものを別のすべての媒体へ複製または、頒布、転載などのすべてを禁じます。

このソフトの使用による直接的、間接的なあらゆる損害の免責を、承諾の上でご使用ください。

Excel のすべてバージョンや使用機器で完全な動作確認をしているものではありません。

(開発や動作試験の確認については配布ファイル Readme.txt に記載したとおりです)

このサンプルで使用する社名・人名・電話番号・その他はすべて架空のものです。

Excel のすべてバージョンや使用機器で完全な動作確認をしているものではありません。

(開発や動作試験の確認については配布ファイル Readme.txt に記載したとおりです)

このサンプルで使用する社名・人名・電話番号・その他はすべて架空のものです。

本説明書では作成時の Excel のバージョンが複数にまたがり画像がバージョンによってそれぞれ異なるため予めご了承ください。

2 配布用ファイルの説明

※ XL 4R グラウンドゴルフ集計プログラムに添付のファイルをご使用の場合は「[図 4](#) 配布ファイルの内容」と「[\(ア\)](#)配布用ファイルの説明」、[\(イ\)](#)使用する場合の参考事項」の項は内容が違うので飛ばしてください。

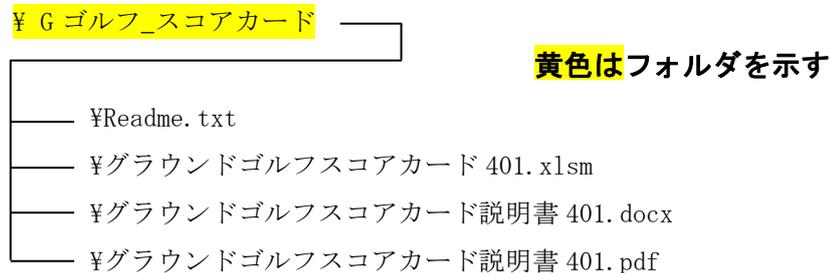


図 4 配布ファイルの内容

(ア) 配布用ファイルの説明

配布用の zip 圧縮ファイル「GG_SCR401.zip」をデスクトップで右クリックしてショートカットを表示し、すべて展開(T) > で解凍してできた「G ゴルフ_スコアカード」フォルダの中には「[図 4](#) 配布ファイルの内容」のように構成されています。¥マークはフォルダです。「G ゴルフ_スコアカード」フォルダをドキュメントまたはマイドキュメントにフォルダに丸ごと保存してください。(以下ドキュメントまたはマイドキュメントを「マイドキュメント」に統一した呼び方で説明します)

(1) グラウンドゴルフスコアカード 401.xlsm :

スコアカードを作成するプログラムです。このプログラムについてはベクターで配布のファイルをドキュメントフォルダに保存されていると思いますが、その中の「D:¥ドキュメント¥XL_4R_G ゴルフ*¥GG 同好会_4R¥GG 同好会全試合データ 2014¥メンバー¥大会用メンバー.xlsx」のデータを取り込む場合を例に「[3 \(ウ\)](#)メンバー取り込み」項で説明しています。

添付のファイルはデータが 126 名分設定してあり、ユーザーが使用する場合はファイル名をユーザー用に替えてコピー & ペースとしたものをスコアカードタブの初期化により使用します。

(2) 「Redme.txt」:

このプログラムファイルの所在、動作に必要な条件などを記述した簡単な説明ファイルです。

(3) グラウンドゴルフスコアカード説明書 401.docx :

本説明書です。

(4) グラウンドゴルフスコアカード説明書 401.pdf :

本説明書の「PDF」版です。

(イ)使用する場合の参考事項

- (1) 「Excel2010」以降のバージョンでインターネットからダウンロードしたファイルで添付の「グラウンドゴルフスコアカード 401.xlsm」やその他、Excel ファイルを開いた場合は次のようなメッセージを表示します。
- (2) 「[図 5 保護されたビュー](#)」のように表示するので<編集を有効にする(E)>をクリックします。
- (3) 「[図 6 コンテンツの有効化](#)」が表示するので同ボタンをクリックしてください。



図 5 保護されたビュー



図 6 コンテンツの有効化

3 「グラウンドゴルフスコアカード 401.xlsm」プログラムの使用方法

(ア)スコアカードタブについて

「[図 7 スコアカードタブ](#)」のような機能が有ります。



図 7 スコアカードタブ

(イ)表を初期化

「1」項で記載したように、このスコアカードの目的は競技前に作成して複雑なグループで競技する氏名を順に掲載して競技者が打数だけを入力できるように準備する目的です。「グラウンドゴルフスコアカード 401.xlsm」を開くと既に競技者名が記載されており、グループの組合せ順などが一目でわかります。

ユーザーは本プログラムやその他の添付ファイルはコピーして「初期化」し、競技名を替えてから使用します。

次項からの操作後は説明書と合わなくなるので上書き保存をしないでご利用ください。

- (1) 「グラウンドゴルフスコアカード 401.xlsm」を開きます。
- (2) 「表を初期化」をクリックします。
- (3) 「表を初期化」の実行確認画面が表示します。

(4) <実行>を押します。

(5) 表が初期化されて「[図 3 スコアカードプレビュー画面](#)」のような一枚の表になります。

(ウ)メンバー取り込み

次の項ではスコアカードに「No」、「GN」、「氏名」、「自治会名」を取り込む説明です。

「(イ)表を初期化」を実行した後に以下の操作をしてください。

(1) 「メンバー取り込み」を選択してください。

(2) 「[図 8 メンバー取り込み確認](#)」の図が開く

ので<OK>を押します。(初期化を実行していない場合は別の「処理の実行確認」ダイアログが表示します。いずれの場合でもプログラムは初期化をして取り込みます)

(3) 「ファイルを開く」ダイアログが開くので

メンバーフォルダ内の「No」、「GN」、「氏名」、

「自治会名」等が編集されたファイルを選択します。「グラウンドゴルフ集計用プログラム」がドキュメント「D:¥ドキュメント¥XL_4R_G ゴルフ*¥GG 同好会_4R¥GG 同好会全試合データ 2014¥メンバー¥大会用メンバー.xlsx」(¥はフォルダ)または「メンバーフォルダ内のすべてのファイル」が可能です。

(4) 「[図 9 メンバー取り込み](#)」ダイアログが開きます。

(5) カード単位の人数コンボボックスは一般には「6」です。

(6) チェックボックスはスコアカードのグループ名(上)(下)に同じグループ名を入力する場合で「中大会用メンバー.xlsx」のような場合チェック「ON」にして、「大会用メンバー.xlsx」のように6名のプレイヤーを3人ずつ別の自治会と組むような場合は「OFF」としてください。

(7) 『「126」個のデータを取り込みました!』と表示します。

(8) <OK>を押します。

参考：「スコアカード1枚、同じグループで試合する」チェックマーク：

スコアカードの2行目L~S列に「グループ名(上)」と「グループ名(下)」がありカード1枚が同じグループの場合は双方のセルに同じグループ名(自治会名など)を記入する場合チェック「ON」にします。

プログラムはチェック「OFF」(グループが上下分割)の場合は「大会用メンバー.xlsx」のE列のように記入して置けば「グループ名(上)」「グループ名(下)」を分割して記入します。

※ コートの番号は「コース」の欄に手入力してください。



図 8 メンバー取り込み確認

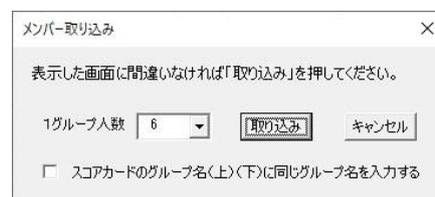


図 9 メンバー取り込み

(エ)ホールポスト No を割り振り

各ページにホールポストを割り振ります。メンバーフォルダの各種サンプルファイルには「No」、「GN」、「氏名」、「自治会名」が設定してありこのような場合ではなく、スコアカードですべてのメンバーの構成をする場合に使用する機能です。

図 10 ホールポスト No 割り振り

- (1) 「ホールポスト No を割り振り」を選択します。
- (2) 「[図 10 ホールポスト No 割り振り](#)」図が開きます。
- (3) <実行>を押します。
- (4) 以上で各表にホールポストの番号が割り振られました。

◆ ボタン、ボックスなどの説明

記入開始行： スコアカードにホールポスト番号を振る場合の開始行です。自動で振った番号では思わしくないという場合に途中のカードから最後のカードまでの番号を上書き形式で振り直すことが出来ます。

番号を振り直す場合はそのカードの範囲内ならどこでも構いませんので先にクリックして置き<実行>ボタンを押してください。

記入開始番号： ホールポストの番号1～8の内、最初に印字する番号です。

表間ステップ数： 1枚目のカードと2枚目以降のホールポストの最初の番号を振る間隔で「1」を選択した場合は1枚目のカードは「1」から始まり2枚目は「2」、3枚目は「3」になります。

「2」を選択した場合は1枚目のカードは「1」から始まり2枚目は「3」、3枚目は「5」のようにカードごとに2ずつを加算します。

(オ)日付競技大会名入力

タイトルどおり競技名と日付、試合回数を入力します。

- (1) 「日付競技大会名入力」を選択します。
- (2) 「[図 11 日付と競技大会名の入力](#)」が開きます。
- (3) 西暦の「年 月 日」は本日の日付を表示するので変更できます。
- (4) 「大会名」は自由に変更してみてください。
- (5) 「ラウンド」は第I回目などの回数でここでは初回「1」を入力してください。
- (6) 設定を押します。
- (7) 全表に入力したデータが反映されます。

図 11 日付と競技大会名の入力

(カ)氏名の書き出し

ベクターから配布の「グラウンドゴルフ集計プログラム」に添付の「XL_4R_GG_同好会

_2015 03 29.xlsx」に「No」「GN」「Start Hole」「氏名」のデータを取り込むために「書き出し処理」をする必要が有る場合に使います。

「No」「GN」「Start Hole」「氏名」の書き出し操作は次のとおりです。

- (1) <氏名の書き出し>を選択します。
- (2) 「実行確認」ダイアログが表示するので<OK>を押します。
- (3) 「書き出しが終了しました!」、「保存ダイアログボックスを表示しますか?」と表示するので<OK>を押します。
- (4) 「ファイルの保存」ダイアログボックスが表示するのでファイル名を確認し修正またはそのまま良ければ保存場所を確認または場所変更して<保存>を押します。
- (5) 「保存」の終了メッセージを表示するので「閉じる」ボタンを押して元の画面に戻ります。

(キ)氏名手書きタイプ

- (1) 「氏名手書きタイプの印刷用」:

「[図 3 スコアカードプレビュー画面](#)」の図で見ると印刷ができます。「[図 12 氏名手書きタイプの印刷用](#)」を開きます。添付の「氏名取り込み大会用サンプル.xlsm」のように多勢でのプレーではなく、少人数で同好会などのチームでプレーをして会場集計するのではなく、試合後に自宅等で集計して後日成績表を掲載する場合で両面印刷機能があるプリンターの場合、スコアカードを用紙節約のため「両面印刷」をする目的です。

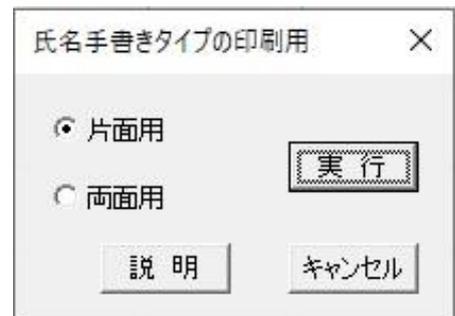


図 12 氏名手書きタイプの印刷用

- a. 先ず表を初期化します。
 - b. 「両面用」ボタン: 両面印刷機能があるプリンターでご使用の場合はこのボタンを押して使用できます。
 - c. <実行>ボタンを押すと用紙が2枚になります。(画面の頁が2頁分無いと印刷できないためです。) 添付ファイルの「スコアカード手書き用紙」フォルダの中の「1_GG スコアカード毎回入力データシート用.xlsx」～「8_GG スコアカード～」のよう手入力でも自由にホール番号を記入して印刷できます。
 - d. 「片面用」ボタン: 上記両面用に対して片面印刷するためのボタンです。
- (2) フッタを基に戻す

「[図 9 メンバー取り込み](#)」を実行する場合、フッタに印刷する「頁番号」が1/n (現頁/総頁) のように印字するようにフッタの設定がしてあります。「[図 12 氏名手書きタイプの印刷用](#)」を使用した場合は自動設定で「フッタを消去」をさせているために印刷が終了した場合は「フッタを元に戻す」を押してください。続けて「[図 9 メンバー取り込み](#)」を実行することがなく、上書き保存しないで終了する場合は押す必要はありません。

(ク)「フッタを消去」

フッタの印刷をしたくない場合のためです。

(ケ)印刷する場合

<印刷>を押して「印刷」ダイアログを表示して「プリンター」の「名前」を選択して<OK>を押して印刷しますが次のことに注意してください。

Excelでは本プログラムを作った機種と使用するパソコンやプリンターが違う場合は「[図 3 スコアカードプレビュー画面](#)」が入りきらない場合があります。プリンターに合うように次の修正が必要な場合があります。

- (1) 「印刷プレビュー」を表示します。
- (2) 「ページ設定」をクリックします。
- (3) 「ページ」タブの「拡大／縮小」率が「93%」になっているので1～2%前後変えて見て<OK>を押しプレビューの画面で見てもみ出しがないように調整し、終わった場合は「上書き保存」してください。

参考: 本スコアカードでは4ラウンドの試合ですから印刷部数は「コース」名と上記「(オ)」により「ラウンド」を記入し直して「4」部の印刷が必要です。

(コ)検索

「氏名」について検索をする場合に使用します。

- (1) 「検索」をクリックすると「[図 13 検索](#)」ダイアログボックスを表示するので「検索文字列」ボックスに氏名を入力します。
- (2) ダウアログボックスを開き既に入力してある「C」列の氏名文字列上で右クリックするとその氏名を「検索文字列」に取り込むことができます。



図 13 検索

◆ オプションボタンの説明は次のとおりです。

あいまい検索: セル内の文字列の内、一部だけを検索する場合にクリックします。

例えば氏名の中で姓だけを検索する場合に使用します

完全一致文字列: 上記に対しセル内の文字列が完全に一致する「姓」、「名」などを検索する場合に使用します。

次を検索ボタン: 複数の同じ文字列を検索する場合は次々に押して検索します。(ボタンを押す場合には多少間を開けてください)

(サ) No と氏名の重複を調査(S)

スコアカードにデータを取り込んだ場合に「No と氏名の重複」が無いかを一度で調査します。エラーがあった場合は赤色のエラーカラーで表示します。並べ替えて同じものを上下に重ねるなどはしませんので最後の行まで確認し修正のうえ再実行するか「[図 9 メンバー取り込み](#)」を実行して作り直してください。

従ってこの調査は「[図 9 メンバー取り込み](#)」を実行した直後の方が賢明です。再実行す

る場合はエラーカラーが有ってもプログラムが消した上で再実行するので次の項目を「(シ)」実行する必要はありません。

(シ)エラーカラーを消す(C)

上記「(サ)No と氏名の重複を調査」でエラーカラーが付いた場合消すためです。但しエラーカラーを再実行する場合はエラーがなければエラーからは消されるため、故意に重複が有る場合にそのカードを残して置くための目的です。例えば第1ラウンドと第2ラウンドなどを同時にシート上に置く場合などで確認のため「(サ)No と氏名の重複を調査」を実行した場合などです。

(ス)表罫線再設定(K)

トップから最終までのすべてのカードについて罫線の再設定をします。罫線を壊した場合に使用する目的です。タイトルなどの文字列は修復しません。

4 バージョンの変更内容

Ver. 00～Ver2. 04 までのバージョンについては省略します。

(ア)バージョンアップについての変更内容

- (1) v 3.00 バージョンアップの内容。
 - a. Excel2013、2016 に対応しました。
 - b. その他これまでの使いにくかった点などを各種の改良をしました。
- (2) v 3.01 バージョンアップの内容。
 - a. 「氏名の取込」をユーザーの競技用ファイルの「氏名の編集」シートから取り込みできるようにしました。Ver3.00 ではファイルを選択だけで取り込んでいましたが「Excel ファイルから氏名の取り込み」に変更しました。
 - b. Ver3.00 の場合、少人数の 20 人以下程度でプレーするパイコンボボックスで奇数人数を入れる場合がありますが「グループ名」(上)(下)の入力でバグがあり修正しました。
 - c. Ver3.00 ではバージョン情報のバージョン番号が間違っていて Ver2.04 となっていました。内容は Ver3.00 ですので問題はありません。
- ② v 4.00 バージョンアップの内容
 - a. メニューを止めてリボンのタブに変更しました。
 - b. 「氏名の取り込み」を「3(ウ)メンバー取り込み」に変更し改良しています。
 - c. 「グラウンドゴルフ集計プログラム」で機能を備えているものはほとんど取り除きました。この関係で説明書も大きく削っています。
- ③ v 4.02 バージョンアップの内容
 - a. ThisWorkbook のインポートをしていなかった修正しました(不具合の内容は他の Book へ移動して戻った時タブが表示できないのと検索の右クリック入力ができない)。